

職能科通信 31号

2015年12月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

「重度身体障がいの方への在宅就労支援」研修会報告

平成27年11月3日（火）神奈川県厚木市七沢516 神奈川県リハビリテーション病院において、神奈川県リハビリテーション支援センター主催の表記研修会を開催しました。この研修会は、行政・医療・福祉・教育・就労支援などの関係機関や障がい当事者やご家族の方向けに、在宅就労の実際の状況や支援の視点と現状を知っていただくことを目的として、隔年で開催しています。

午前中は、まず職能科・松元より「在宅就労を知ろう」というテーマで、雇用型の在宅勤務と非雇用型の在宅就業、障害者雇用に関する制度、在宅雇用のニーズの高い身体障がい、企業事例、在宅雇用に向けた就労支援などの概要説明をしました。

続いてリハビリテーション工学科・柏原より「パソコンの可能性を知ろう」というテーマで、パソコンの操作環境における入力機器とアクセシビリティ機能を紹介しました。その後、作業療法士・対馬より「本人の可能性を広げよう」というテーマで、在宅就労の実現に向けた入院患者さんへの支援事例を紹介しました。

午後は、「生の声を聴こう」というテーマで、現在、在宅勤務をされている方をお招きしての講義でした。

まず神野氏（頸髄損傷）からは、受傷後の経緯、復学、就職活動、在宅勤務状況、単身生活、余暇（スキューバダイビング、アメリカ旅行記）などのお話と、1日の在宅勤務を含めた生活状況をDVDで紹介されました。（写真1）

続いて星氏（難病）からは、発症後の経緯、進学、結婚、障害者就職促進委託訓練 e-ラーニングや就労移行支援事業所 Do-will でのPC訓練、通勤での就職、在宅勤務での2回の転職や1週間の生活スケジュールなどのお話と、在宅勤務時の自宅PC操作状況を写真で紹介されました。（写真2）

最後に職能科・松元より「まとめ」として県内における在宅雇用支援状況、職能科の支援の紹介、将来的な在宅就労に向けて地域のなかで取り組めそうなことを紹介しました。

受講者の皆様からは、貴重な在宅勤務当事者のお話や、在宅就労の支援と状況を知っていただき、好評でした。これからも職能科では、重度身体障がいの方の在宅雇用に関して、院内リハビリテーション・スタッフ及び地域の関係機関、さらに在宅勤務者のピアサポーターと連携をして就労支援をしてまいります。お気軽にご相談ください。（松元 健）



写真1 講師の神野氏



写真2 講師の星氏

「脊髄損傷のリハビリテーション（理解編）」研修会報告

平成 27 年 10 月 28 日（水）、神奈川リハビリテーション病院にて「脊髄損傷のリハビリテーション（理解編）」研修会が行われました。脊髄損傷の基礎的な知識を深めることを目的に、医療職や介護職など約 30 名の方にご参加いただきました。（写真 3）



研修会では、医師、看護師、ソーシャルワーカー、職能科職員よりそれぞれ、脊髄損傷の概要や基本的な支援などについてお話をさせていただきました。今回の研修会では各セクションにて、近年増加傾向にある「高齢者の頸髄損傷者」についての話題を交えて行いました。職能科からも、障害者雇用に関する法律・制度、在宅就労など多様化する働き方のご紹介などに加えて、現在実施している高齢頸髄損傷者の方への支援についてもお話しさせていただきました。就労への支援では、業務の IT 化に伴いパソコン利用訓練を行うことが多いのですが、高齢の患者様にもパソコンを利用した訓練や、それ以外にも手工芸作業などを実施しています。（今号の職能科通信・下部の記事もご参照ください）受講者の皆様からも、高齢の方への支援に関心を示すご感想をいただき、今後も注目され、必要とされる分野ではないかと感じています。（植西 佑香里）

平成 27 年度就労支援の実績		就職・復職者の人数	
職場内リハビリテーション実施人数	2015年4月～10月の累計 16名	2015年4月～10月の累計	新規就労 6名
			復職 21名

◆ 訓練課題の紹介 【スキルミニギャラリー】 ◆



職能科の訓練課題として使用している「スキルミニギャラリー」についてご紹介します。これは両面接着テープが貼られたキャンバスのマス目に、配色図案に従って1つ1つビーズを張り付けていく手芸です。（写真 4）脊髄障がいの方には手指機能の回復や作業耐性の向上と、在宅に戻られた際の余暇活動の提案を目的として、また、高次脳機能障がいの方には集中力の持続、注意配分、遂行機能などの評価と機能・認知訓練を目的として活用しています。ピンセット等の道具や指先でビーズをつまむ動作が可能であれば、手指に麻痺やしびれがある方でも取り組みやすい課題です。男性・女性を問わず、「芸術センスがなくても綺麗にできる！」と、ご自宅用として、ご家族・ご友人へのプレゼントとして人気の作業課題となっています。この「スキルミニギャラリー」は一般の方でもインターネットや手芸店で購入することができるため、リハビリを兼ねた余暇活動として在宅で取り組むことができます。（安藤 優美子）